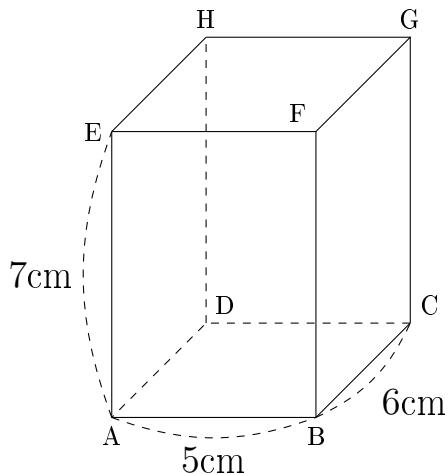


## 三平方の定理 [三平方の定理の活用 (3)]

<演習問題>

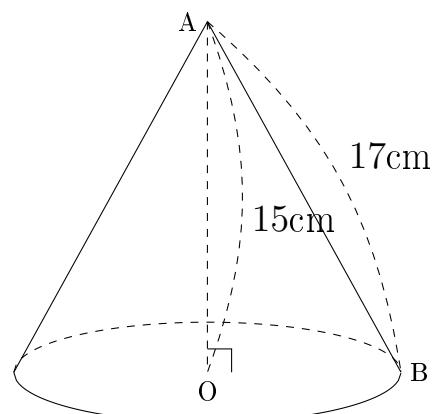
(1)

図のような、縦、横、高さが、  
それぞれ 5cm、6cm、7cm である  
直方体の対角線の長さを求めよ。



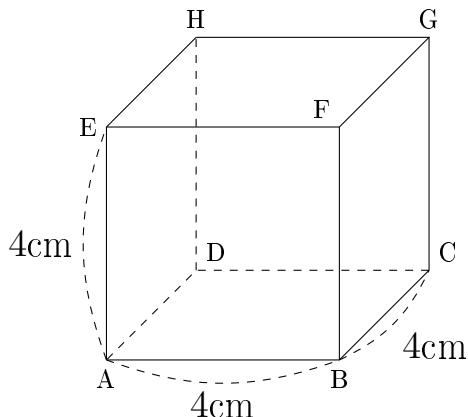
(3)

図のような、高さが 15cm、  
母線の長さが 17cm である円錐について、  
底面の円の半径、円錐の底面積と体積を求めよ。



(2)

図のような、1 辺の長さが 4cm である  
立方体の対角線の長さを求めよ。

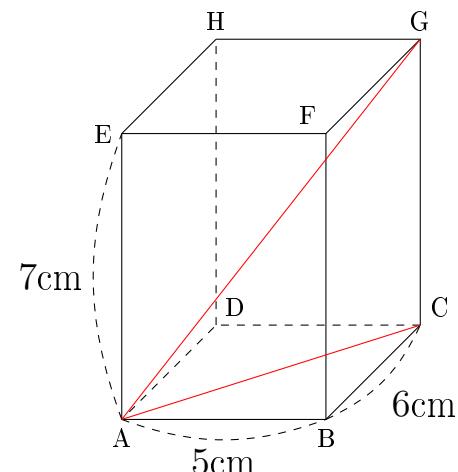


## 三平方の定理 [三平方の定理の活用 (3)]

<演習問題>

(1)

図のような、縦、横、高さが、それぞれ 6cm、5cm、7cm である直方体の対角線の長さを求めよ。



底面の四角形 ABCD について、対角線 AC を引く。

△ABC は直角三角形なので、三平方の定理より、

$$AC^2 = 5^2 + 6^2 = 61$$

立方体の対角線 AG を引く。

△GAC は直角三角形なので、三平方の定理より、

$$GA^2 = 7^2 + AC^2 = 49 + 61 = 110$$

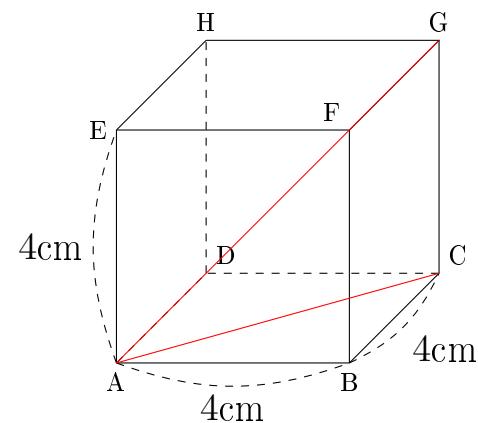
$GA > 0$  より、

$$GA = \sqrt{110}$$

対角線の長さ  $\sqrt{110}$  cm

(2)

図のような、1 辺の長さが 4cm である直方体の対角線の長さを求めよ。



底面の四角形 ABCD について、対角線 AC を引く。

△ABC は直角三角形なので、三平方の定理より、

$$AC^2 = 4^2 + 4^2 = 32$$

立方体の対角線 AG を引く。

△GAC は直角三角形なので、三平方の定理より、

$$GA^2 = 4^2 + AC^2 = 16 + 32 = 48$$

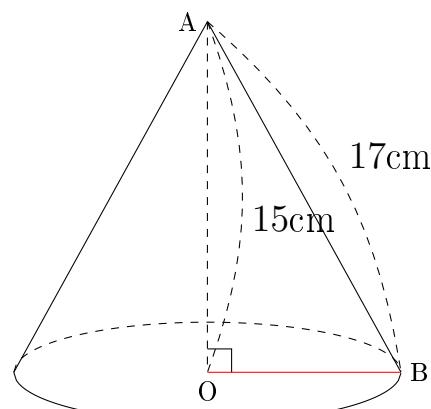
$GA > 0$  より、

$$GA = 4\sqrt{3}$$

対角線の長さ  $4\sqrt{3}$  cm

(3)

図のような、高さが 15cm、母線の長さが 17cm である円錐について、底面の円の半径、円錐の底面積と体積を求めよ。



底面の円の中心 O、底面の円周上の点 B、円錐の頂点 A について、

△AOB は直角三角形なので、三平方の定理より、

$$OB^2 = 17^2 - 15^2 = 64$$

$OB > 0$  より、

$$OB = 8$$

底面の円の半径 8cm

底面積は、

$$\pi \times 8^2 = 64\pi \text{ cm}^2$$

体積は、

$$\frac{1}{3} \times 64\pi \times 15 = 320\pi \text{ cm}^3$$

底面の円の半径 8 cm

円錐の底面積  $64\pi \text{ cm}^2$

円錐の体積  $320\pi \text{ cm}^3$